

THE KOBECO

1983

11

NOVEMBER No. 271

月刊神戸っ子

神戸っ子 昭和40年1月20日 第三種郵便物認可
昭和58年11月1日印刷 通巻271号
昭和58年11月1日発行 毎月1回1日発行



'83 BENIYA BRILLIANT MODE

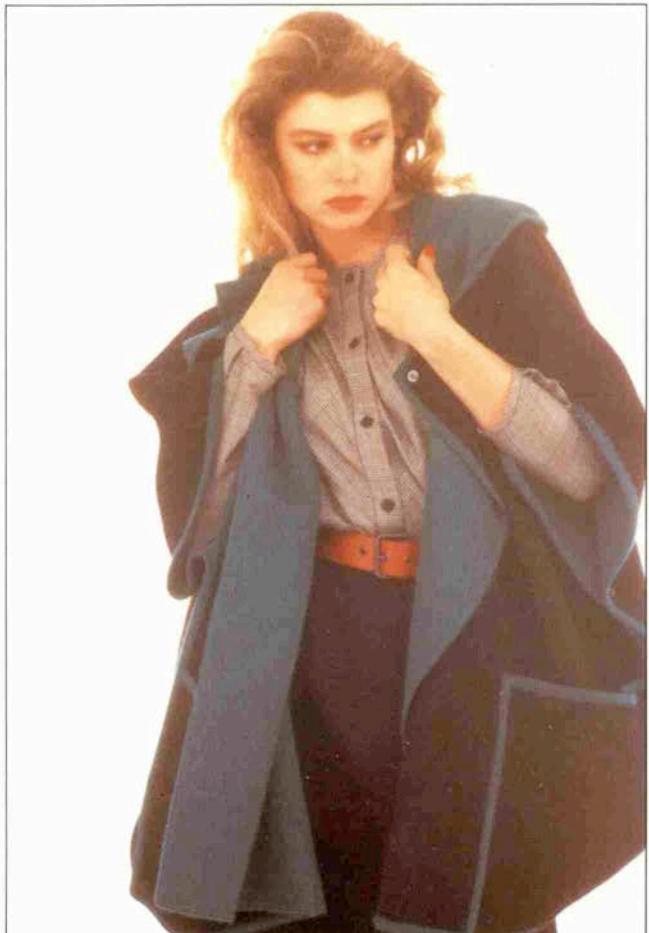
冬のコーティング。

覆いつくせば、

いつまでもわだつのが感性性
センシティヴな情感です。

たゞえはコートの胸もとや衿あし、
袖ぐちや裾にたどりよう豊かな女らしさ。

△△△セシティヴモダン
近づく冬へ
シックな絵札の展開です。



BENIYA

本店／神戸市中央区三宮センター街1丁目 ニューセンター1F・2F ☎332-2135 KOBE・OSAKA・TOKYO



胸に真珠があるかぎり、
胸の輝きは消えそうにありません。



田崎真珠

We love MILANO collection



(右) ダイドバジャ
(左) ダイドフォックス リバーシブル&パンツ



MILANO BOEING社

日本ではベニー毛皮店からデビュー！

世界最大のフランクフルト毛皮見本市の最高のショーで常に世界中の毛皮商達を興奮の渦に巻き込むBOEING社のコレクション。その作品はN.Y.メトロポリタン美術館にも永久保存されています。

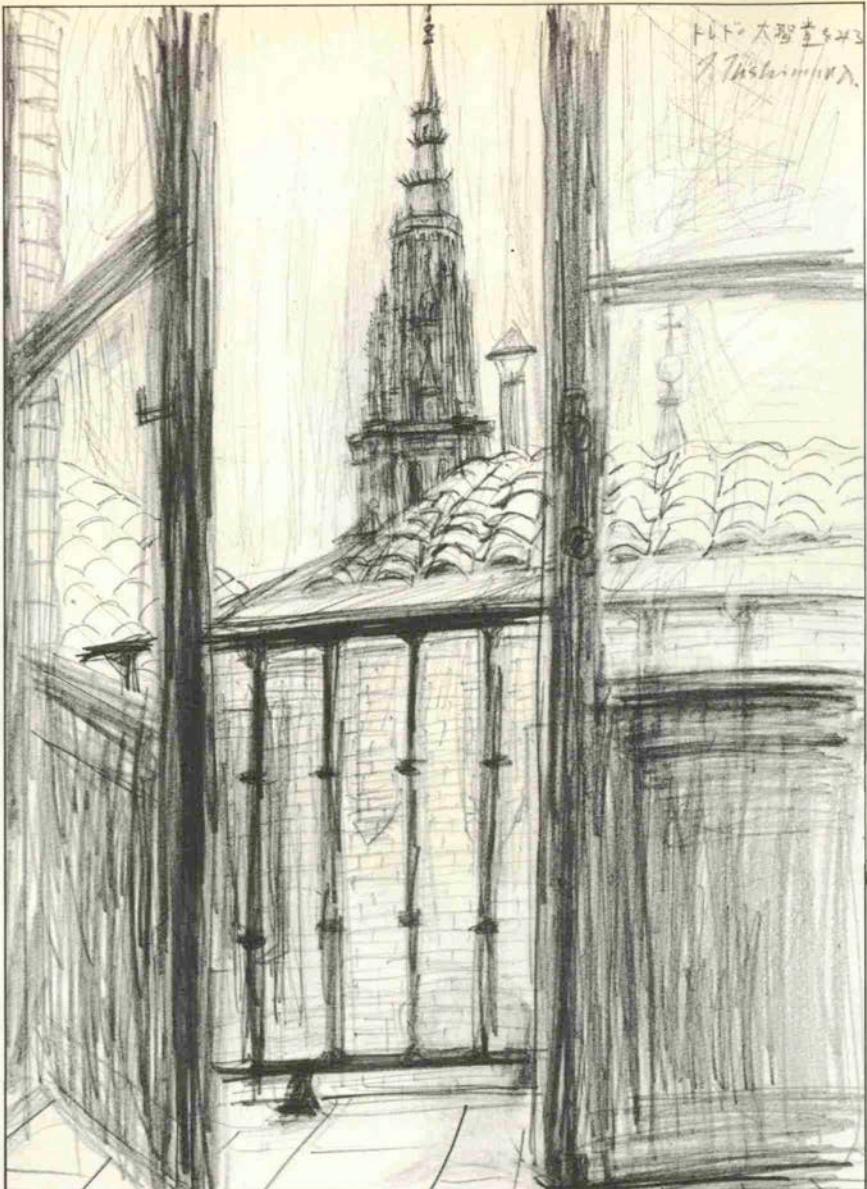


最高の品質と信頼を誇る毛皮専門店

ベニー毛皮店

〒651 神戸市中央区御幸通8丁目1-6
神戸国際会館1階
TEL (078) 221-3327代

絵・西村 功



トレド大聖堂をみる
The cathedral of Toledo

スケッチブックから(59)
●ヨーロッパを描く

トレドの大聖堂を見る

月刊神戸っ子ニースフェスティバル“待夢”ツアー

1984年 1月11日(水)～1月18日(金) 8日間



25名募集

旅行費用 305,000円

バルセロナ経由の10日間コース 365,000円も
あります。

フェスティバル・イン・ニース'84

風光明媚で温暖なコートダジュール。夜は「ネグレスコホテル」を会場に、最高級レストラン「シャンテクレール」のシェフが腕によりをかけた晩餐、春夏ファッション「コートダジュールコレクション」と楽しみが一杯です。

84/1月の宴 ^宴 in パラディラタン

また、パリっ子の間でも人気の“パラディラタン”のディナーショーは夢のような楽しさ。

1984年の初頭をニースとパリで過ごしませんか。

月日	曜	地名	現地時間	交通機関	摘要	食事
1月11日	(水)	大阪発	夜	航空機	空路、パリ経由“待夢”ニースへ(機内泊)	
1月12日	(木)	ニース着	午前	専用バス	着後、市内観光及びショッピング。途中レストランにて南仏料理の昼食 午後：自由行動 (ニース泊)	昼食付
1月13日	(金)	ニース滞在		専用バス	朝食後、専用バスで香水の里グラースへ。カンヌで昼食後、観光地案内。 “フェスティバル・インニース'84に参加 (ニース泊)	朝食→昼食→夕食
1月14日	(土)	ニース滞在			終日：自由行動 ニースの街をご自身でお楽しみください。 (※OP：夕刻、モナコの有名レストランでご夕食の後 カジノをお楽しみください) (ニース泊)	朝食付

月日	曜	地名	現地時間	交通機関	摘要	食事
1月15日	(日)	ニース発 パリ着	午前 午後	航空機 専用バス	空路パリへ、着後は市内観光。 昼食は日本食。 夜は“華麗”なパラディラタンのディナーショーをご案内	朝食→昼食→夕食
1月16日	(月)	パリ滞在			終日：自由行動 パリの街角のショッピングを心ゆくまでお楽しみください。 ※OP：ベルサイユ宮殿	朝食付
1月17日	(火)	パリ発	午後		空路、帰国途へ	
1月18日	(水)	大阪着	夕刻		着後、解散	

- お問い合わせ 月刊神戸っ子ニースフェスティバル“待夢”ツアー係 ☎ 078-331-2246
- 企画 月刊神戸っ子
- 協力 エールフランス
- お申し込み 旅行代理店アイ・ティ・エス ☎ 06-252-6311



MINAMI ROYAL GRACE HOTEL

MINAMIロイヤルグレイスホテル

●
はるかな外洋を夢みる楽園

淡路島サンビアマリーナに誕生する

エグゼクティブのための

リゾートホテル

MINAMI ROYAL GRACE HOTEL

充ち足りたシーサイド・ライフが

あなたをお待ちしています



MINAMIロイヤルグレイスホテル完成予想図

●
ごあいさつ

国際的な視野に立ち、ヒューマンな感性で、21世紀の豊かな暮らしを実現する——これは、私共、株式会社南インターナショナルが企業力を結集して取り組んでおりますテーマですが、このMINAMIロイヤルグレイスホテルもまたその事業の一端です。

これは、欧米に比べて立ち遅れている日本のリゾートライフの在り方を、大きく変貌させるものと確信し、私の夢とロマンをかけて建設するものです。このグローバル構想に、どうぞ期待ください。

㈱南インターナショナル
代表取締役社長 南 泰吉



さわやかな起工式(58年9月)



 株式会社
南インターナショナル
MINAMI INTERNATIONAL CO., LTD

神戸市中央区浜辺通5丁目1-14 ☎ (232) 1301



Tajima
宝飾店 タジマ

元町 2 丁目 TEL 331-5761 代表

いつまでも夢を心に

秋澤 瑞子

（国際トーストミストレス／グラブ・スピーチ入賞者）田村 康

この夏、アメリカのボストン市で開催された国際トーストミストレス・クラブのスピーチコンテストでみごと3位に入賞、日本人で初めてとなることも加わって一躍話題の人となつた。

神戸女学院大学在学中に好きな美術の勉強のため、アメリカへ留学、持ち前の明るい性格と英語力を生かしてオリンピックではコンバニオンを勤めるなど、以来国際親善を通じて女性の社会参加を自ら実践してきた。

「今回のスピーチコンテストは、むしろ私の生き方の一断面を示すものです。私は女性に夢をもつて生きてほしいと思っています。主婦も家庭を大切にしながらも、限られた時間を有意義に使って、社会の中で自分なりの目的意識をもつて生きてほしいですね」

水泳、登山などスポーツは何でもこなす一方、3年前に二科会に初入選の実績ももつ。小野市で開業医を営むご主人は10月の北野町ジャズストリートに出演したアマチュアクラリネット奏者。中学生の2人の娘に声援をうけての楽しい家庭づくりも彼女の生き方の一つといえるかもしない。双子座、O型。

（宝塚の自宅にて）



サウナが生まれ変わります。新しい自分、みつけてください。

1983年11月

リフレッシュ・オープン

サウナとエステティック 神戸レディスサウナ

神戸三宮・生田新道ワシントンホテル向かい

TEL078-321-4742-4741

営業時間 朝10時~夜3時・年中無休



マルチ感覚の役者業——小山竜太朗

(小山企画株代表取締役) カメラ 中村昇治

「役者であるからには、どんな役にも挑戦してみたい。好きなのは、時代劇のいなせなあはれ者なんかだけど、今流行のレボーターもやってみたい。そろそろレコードも出したいくらいと思っているんですよ」役者を目指して二十歳で新国劇へ入団、解散後プロダクションにも所属したが、今春から故郷の神戸へ帰り小山企画を設立した。

邦舞家、花柳芳五三郎氏の次男坊で二歳から稽古を積み、初舞台は三歳で牛若丸を踊った。花柳芳三郎の名を持つている。高校一年から藤舎推峯師について笛の稽古も。舞台など人前に出るのは小さい時から好きだったそうだ。ところが邦舞一筋ではもの足らず、十九歳の時、商売を覚えようと、友人の家具屋で七ヶ月働いた。『人を説得して物を売る』というのも、自分には向いているな、とその頃から思い始め、独立した小山企画では、KOYAMAという毛皮やランジェリーを扱う店を経営している。十一月二十八日には生田神社会館で岡田真澄をゲストに迎え豪華なショーを催す。「役者も商売もそれぞれ真剣に取り組むほど面白い。正月には久々に舞台もあるので頑張ります」とマルチ感覚を持つ現代っ子。小山企画製作の時代物映画を撮るのが夢という。兵庫区在住。昭和三十四年生まれ。(兵庫で)





Beautiful eye
•わたしとメガネ

かけがえのない眼を
大切にしたい

島田 文六

〈島文工業代表取締役社長〉

眼は身体の中でも重要な
パーツのひとつ。このかけ
がえのない眼を、いつまで
も大切にしたいと思います。

その眼の働きを補い助け
てくれるメガネは、慎重に
選びたいものです。それに
は信頼のできるお店選びか
ら。

服部メガネ

神戸・大丸前 ☎(078)331-1123

ある集い



須磨琴保存会



須磨寺が、来年、源平一
の谷八百年の年を迎える。
この寺に在原行平が、平
安の昔に一絃の琴に託して
望郷の切なき想いを託した
という須磨琴が、王朝から
源平の興亡の時代を越えて
現代によみがえり、「須磨琴
保存会」として、昭和四十
年から、小池義人管長と、
小池美代子夫人（兵庫県無
形文化財）とその一門によ
つて、劇場音楽にまで育て
あげた。

この秋、十月十四日の夜
は、一昨年、国立小劇場で
「須磨琴」の名をあげた、
創作曲「須磨の残照」（平家
物語より／脚本・岡田美代
／作曲・藤舎推峰の作品と
在原行平作詞の「須磨」、
世阿弥作詞作曲・真鍋豊平
の名曲を演奏するリサイタ
ルを、神戸文化ホール（中）
で開いた。

ことに「須磨の残照」は
平家没落の歴史の一端を語
つているが、八百年を経て
今は恩讐を越え、怨親平等
源平戦士の靈前に捧げる鎮
魂の賦となつており、「須磨
寺」の祈りと「須磨琴保存
会」の芸への真摯な姿勢が
清々しい。

（合わせて35頁もお読み下さい）

ジニヤス カレッジ主催 第一回文化講演会

(後援 月刊神戸つ子・神戸新聞出版センター)
エッセイスト

吉村由美さんが語る



神戸の街と作家たち：

秋の訪れとともに、神戸の街は、その明るさのなかに、愁いを感じさせるようになる。北野町の小路の奥で、新しい季節が、やさしく微笑むような街のたたずまい…。

神戸の街。この街と作家との出会い。この街を舞台とした珠玉の文学作品。「神戸の街と作家たち」。これは実に魅力あるテーマだ。

十月一日午後、神戸市勤労会館で、ジニヤス カレッジ主催による第一回文化講演会が「神戸の街と作家たち」をテーマに開かれた。講師は吉村由美さん。

吉村さんは今春、神戸新聞出版センターからエッセイ集「魅せられし時のため」を上梓された隨



エッセイスト・吉村由美さん

吉村さんは、まず、各作家の生い立ちを、その作品の背景として紹介。神戸に縁の深い第一線作家のプロフィールが浮き彫りにされ、その講演会をぜひとも早く、という声が今回の参加者の中から多く寄せられている。吉村さんの情熱あふれる講演が、一人ひとりに感銘を与え、その輪が大きく広がろうとしている。

より一層の活躍が期待される吉

筆家。気品ある流麗な筆致のそのエッセイは、詩心のある多くの人たちに、さわやかな感動を呼び起こしている。

「神戸の街と作家たち」は、吉村さんが情熱をもつて取り組んでおられるテーマ。それだけに、当日の講演は熱のこもるものであった。

この日、吉村さんがとり上げた作家と作品は、陳舜臣「枯草の根」、堀辰雄「旅の絵」、野坂昭如「火垂るの墓」、谷崎潤一郎「細雪」。

吉村さんは、まず、各作家の生い立ちを、その作品の背景として紹介。神戸に縁の深い第一線作家のプロフィールが浮き彫りにされ

た。作品紹介では、その舞台となつた神戸の街が、スライドで映し出され、作品をより一層身近かなものとし、親しみを感じさせるものとなつた。

第一回文化講演会を終えた吉村さんは、十月十六日朝にはラジオ関西の番組に出演、また、二十二日には有馬コミュニティカレッジ講演会で講演と大活躍。



参加者との語らいのひととき



感謝状を授与する長谷川保(財)日本老人福祉財団会長(左) 祝辞を述べる宮岡寿雄助役



200名余りの入居者も参列

関西で初めての高齢者コミュニティ 神戸くゆうゆうの里開設

●コウベスナップ

高まる孤高の画家への関心

生誕100年 金山平三展開かれる

金井元彦館長(左)らによるテープカット



老後の自立をめざして——(財)日本老人福祉財団が西鈴蘭台に、
関西で初めての高齢者コミュニティ神戸くゆうゆうの里を開設。
9月13日現地で落成式が催され、居住者や関係者約400名が参列した。
聖隸福祉事業団会も兼ねる同財團長谷川保会長による式辞の後、宮
岡寿雄神戸市助役ら来賓が挨拶。大食堂で親睦パーティが開かれた。

神戸が生んだ近代日本の代表的洋画家、金山平三の生誕100年を
記念して、画伯の全画業を回顧する「幻の画家が描いた日本の自然
—生誕100年金山平三展」が、9月15日～10月16日県立近代美術
館で開催された。金山画伯は日本の自然をテーマに描き続けた孤高
の画家として知られるが、その厳しく清冽な作品は人々を魅了した。

小磯良平画伯(中央)も熱心に

石阪春生画伯(左)も作品に見入る



エトランゼの 輪郭 21

西村 功

1923／大阪に生まれる 1948／帝美（現武藏野美大）卒 1950／二
紀展初入選 1956／二紀会 委員となる 1966／第9回安井賞受賞
1970、'72／渡欧 1974～'75／渡欧 1979／菊華賞受賞 1982／画集発刊



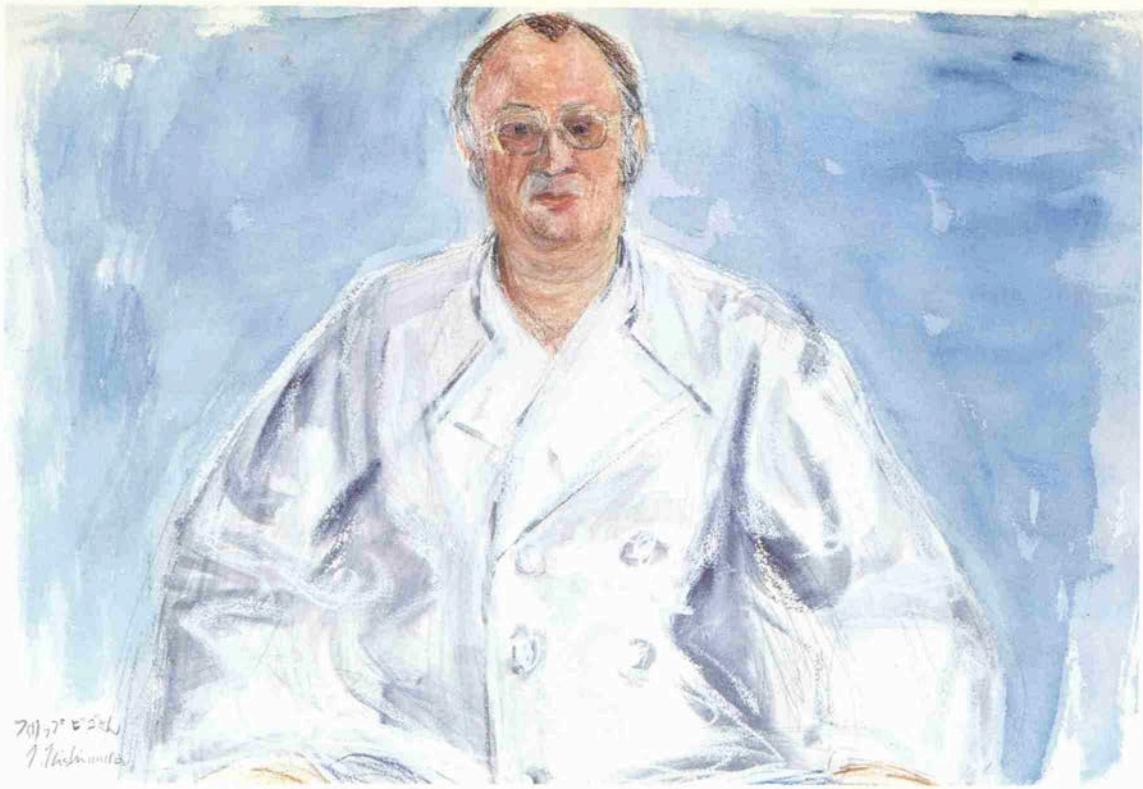
モデル／フィリップ・ビコさん(フランス)

パンとフランス人

フランス人は日本人に比べると、食べ物に対してかなり無神経だ。例えば裸のまま買って帰ったフランスパンを、アパルトマンのドアの鍵を開ける時に、無造作に地面にたてかけたりする。でも、そんな光景はいかにもフランスらしい。

今日はそんなフランスから来られたパン職人のフィリップ・ビゴさんを描くことになった。ビゴさんはお父さんもパン職人、子供の頃は大きな籠にバケットを何本もつめて、朝早くから配達を手伝うのが日課だったそうだ。来日されて早や18年、働き者のビゴさんのパンやお菓子は、今では沢山の人達に愛されている。

今、パリは労働時間の短縮が社会問題化しているという。週39時間労働というから、仕事も手抜きになる。醸酵にも余り時間をかけないので、いいパンができるないと残念そうにおっしゃるビゴさん。「日本はそうならないで欲しいね」ビゴさんの切なる願いである。



フィリップ・ビゴさん PIO